

がんの初代培養方法の確立と臨床応用に向けた開発研究

1. 研究の対象

2015年6月以降に当院で消化器癌、乳癌、泌尿器癌、婦人科癌、肉腫の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

研究目的・方法：

基礎研究において癌の増殖や転移の動態の解明は非常に重要であり、臨床分野でもこれらの分子生物学的情報を生かした新しい治療薬の選択や開発が期待されるところで、多くの基礎研究で用いられているのは細胞株と呼ばれる増殖能を獲得した比較的均一な癌細胞の集団であり、実際の個体内での多様性を持つ癌組織とは異なります。しかし初代培養は培養そのものが困難であり、現在確立した手法がないのが現状です。本研究では臨床応用できやすいよう、従来方法よりもより簡便で汎用性の高い初代培養法の確立を目指すことを目的としています。なお、試料・情報の一部は大阪国際がんセンター—Cancer Cell Port がん細胞バンクに寄託され、外部研究機関等にて、幅広く研究や薬剤の開発等に用いられます。

研究期間：2016年9月～2020年3月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病理検査所見

試料：生検又は手術によって採取されたがん組織

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 研究所 がん医療創生部 伊藤 彩

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：消化器外科 主任部長 大植雅之

以上